

TACとは？

TACの 原点

希薄となった担い手農家との接点を結ぶため、
数字(ノルマ)を背負わずに担い手の話を聴きに行くことを専任業務とする担当者であること。(「物売り」ではない)
TACに最低限必要なスキルは、
「話をきちんと聴けること」、「得た情報を確実につなげること」

意 味

Team for Agricultural Coordination
単協・連合会が一体(チーム)となって地域農業をコーディネートする。

役 割

- 地域農業の担い手に訪問してご意見・ご要望をうかがい、誠実に応える。
- 地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けする。
- 地域農業の担い手のご意見を持ち帰り、JAグループの業務改善につなげる。

マーク

地域農業の担い手とTACが対話・相談する姿、
そしてその対話から生まれる課題解決やヒラメキをデザイン



キャッチ コピー

Tとことん、**A**会って、**C**コミュニケーション!!

TACの活動状況 (2020年度実績)

項目	総計	北海道	東北	関東・ 甲信越	東海・ 北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
全JA数 ①	584 (611)	105 (108)	60 (64)	147 (150)	86 (95)	58 (58)	52 (59)	76 (77)
TACシステム入力JA数 ②	206 (235)	7 (8)	39 (44)	66 (71)	23 (30)	27 (28)	23 (30)	21 (24)
活動普及率 (%) ②/①	35 (38)	7 (7)	65 (69)	45 (47)	27 (32)	47 (48)	44 (51)	28 (31)
TACシステム入力 TAC数(人) ③	1,459 (1,644)	93 (105)	279 (349)	373 (413)	205 (214)	150 (186)	220 (244)	139 (133)
訪問担い手数 (千人) ④	62 (69)	2 (3)	14 (13)	17 (21)	5 (5)	8 (11)	8 (8)	8 (8)
担い手面談数 (千件) ⑤	490 (570)	13 (13)	79 (79)	129 (156)	62 (82)	77 (98)	71 (73)	59 (69)

※ () 内は前年数値

全国206JAに所属する1,459名のTACが、62千人の担い手に訪問活動を490万件実施